

令和2年度 第1回よっちゃんばれ放談会 要旨

日 時	令和3年2月19日（金）午前10時00分～午前11時30分
会 場	甲府市役所本庁舎8階 8-1・8-2会議室
参 加 者	市内大学在学中の学生（4名）
市出席者	市長、市民部長、市民協働室長、国際交流課長、人権男女参画課長、協働推進課長
次 第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 市長あいさつ 3 参加者自己紹介 4 日本女性会議プレ大会のオンライン講演会について 5 意見交換 6 まとめ 7 閉会
意見交換	
人権男女参画課長	<p>本日の「よっちゃんばれ放談会」は、「女性生きいきのまちを創る」をテーマとして、日本女性会議 2021 in 甲府大会の分科会等の運営に携わっていただいている学生4名にご参加をいただき、市長とざっくばらんな意見交換会を行っていただく予定です。</p> <p>はじめに、本日まで参加をいただきました皆様から自己紹介をお願いしたいと思います。</p> <p>はじめに、参加者Aさんお願いします。</p>
参加者A	<p>私は、社会人入試で入学し、環境経済学を中心に勉強しております。</p> <p>いろいろな視点から、甲府市の現状や将来を見ることができるとは思いません、女性会議にも参加させていただいております。</p> <p>本日は、よろしく願いいたします。</p>
人権男女参画課長	<p>続きまして、参加者Bさんお願いします。</p>
参加者B	<p>私は留学生で、中国から来ました。地元は中国の南に位置し、山梨県に似て山が多いところです。現在、環境経済学を学んでいます。</p> <p>本日は、よろしく願いいたします。</p>
人権男女参画	<p>続きまして、参加者Cさんお願いします。</p>

<p>課長 参加者C</p>	<p>私は、甲府市に引っ越してきて8年になりますので、甲府市を地元として認識しはじめたところです。</p> <p>女性会議に参加させていただいていますが、私自身は、高校時代に甲府市でLGBT学生団体の運営を行っていきまして、その頃からLGBT、女性の活躍に興味がありましたので、今日もお話が出来たらと思います。</p> <p>本日は、よろしくお願いいたします。</p>
<p>人権男女参画 課長 参加者D</p>	<p>続きまして、参加者Dさんお願いします。</p> <p>私は、特に生き物が好きですが、その他にも、いろいろなことに興味をもっています。また、大学では武道を行っております。</p> <p>本日は、よろしくお願いいたします。</p>
<p>人権男女参画 課長</p>	<p>皆さん初めての市長との意見交換会ということで、大変緊張しているのではないのでしょうか。皆さんにリラックスしていただくためにも、甲府市での初めての試みとして、12月19日に開催されました、日本女性会議2021 in 甲府プレ大会でのオンライン講演会についてのご感想を市長にお伺いしたいと思います。</p>
<p>市長</p>	<p>12月19日に総合市民会館の芸術ホールで、ウェブでの落合さんの講演を聞かせていただきました。コロナ禍で、どのように生活を送っていくかなど最先端の考えを持っており、今の世の中のリーダーであると感じを受けました。</p> <p>テイクアウトとか、いろいろな状態の変化に明確にメッセージを出していただきました。私達も情報を、きちんと受けとめて、甲府スタイル、甲府モデルとして市民の皆さんにお示しができればと思いました。</p> <p>今年は、信玄公生誕500年の年であります。また、2019年は、甲府開府500年という節目の年を迎えまして、大勢の市民の皆さんでお祝いし、改めて故郷を再確認することができました。</p> <p>今年度は、コロナ禍の影響により、色々な事業等が出来ませんでした。これから新型コロナウイルスのワクチン接種を行っていくという、非常に重要な作業を行ってまいります。</p> <p>また、アフターコロナに向けての第一歩を踏み出せるように対応していきたいと思っています。</p> <p>本日は、本市の将来について、ざっくばらんなご意見や様々なアイデアをいただきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。</p>

<p>人権男女参画 課長</p>	<p>市長の感想を聞いたうえで、参加者の皆様から一言お願いします。 初めに参加者Aさんからお願いします。</p>
<p>参加者A</p>	<p>落合さんの講演で、私は質問するつもりで待っていたのですが、その待っている間、ものすごい量の情報が飛び交い、本当に圧倒されました。 落合さんがおっしゃっていた、これから大事なものである「世代」と「情報」などについて話し合う際に、オンラインを使っての情報交換は、みんなで情報を共有できる大きなチャンスだと思いました。 コロナについては、どうしてもネガティブな印象を持ってしまいがちですが、システムを新しく変えていき良い方向に進めるよう、みんなで一緒に考えていきたいと思いました。</p>
<p>人権男女参画 課長</p>	<p>続きまして、参加者Bさんお願いします。</p>
<p>参加者B</p>	<p>私はオンラインを使って自宅で講演に参加したのですが、学生チームの顔が画面に映し出された時には、私も一緒に参加している感覚でした。 コロナは世界中に災いをもたらしましたが、それによって対面だけではない、オンラインでの交流が世界中で行われるようになり、今後、もっと多方面で利用され、より発展していけば良いと思いました。</p>
<p>人権男女参画 課長</p>	<p>続きまして、参加者Cさんお願いします。</p>
<p>参加者C</p>	<p>落合さんは、今後の生活について、「アフターコロナ」よりも「ウィズコロナ」であるということをおっしゃっていたのではないかと思います。 これからワクチンの接種が始まりますが、コロナとの生活はこれからも長く続いていくことが予想されますので、いろいろな情報を消化し、自分の生活に生かしていこうと思いました。</p>
<p>人権男女参画 課長</p>	<p>続きまして、参加者Dさんお願いします。</p>
<p>参加者D</p>	<p>天然痘はワクチンができてから184年、撲滅までに284年かかったので、コロナも同様に覚悟しなければならないと思いました。 GoToトラベル・GoToイートの次は、GoToデリバリーであるとの話もありました。また、オンラインにより男女格差が少なくなる側面があるなど、多くのことに気付かされました。</p>
<p>人権男女参画 課長</p>	<p>ありがとうございました。 それでは市長コメントをお願いします。</p>

市長	<p>オンラインでの交流の促進によって、男女格差が少なくなるのは、ピンチがチャンスに生まれ変わっていくようで楽しみです。来年度から始まる予定のギガスクール構想など、情報の地域格差が生まれては困ると少し心配しています。</p> <p>また、ウィズコロナによる新しい産業の創出が、甲府でも生まれていると感じていますので、みんなで情報を共有しながら発展させていきたいと考えています。</p>
参加者A	<p>私は信玄公生誕500年記念事業に参加したのですが、ウィズコロナによる小さなイベントだからこそその温かみを感じることができたので、そのような伝統を伝えられるイベントを、今後もたくさん開催してもらいたいと思いました。</p>
市長	<p>信玄公生誕500年記念事業のような伝統を伝えていくことは、続けていくことが大切で、できるだけ多くの方に参画してもらい、「自分たちで開催した」という実感を持ってもらいたいと考えています。</p>
人権男女参画課長	<p>それでは改めて意見交換会に入らせていただきます。</p> <p>本日のサブテーマは、女性の視点から見た将来の甲府市についてです。</p> <p>このテーマについて、「コロナ禍も踏まえて、今後の甲府市の国際交流の形態はどうなるのか」、「性の多様性、LGBTの人が暮らしやすい甲府市とは」、「山梨で働く女性を増やすには」、「オンラインを使うことによる教育や仕事など、生活面でのメリット、デメリットは」、以上の内容で、それぞれにご意見をいただき、その後、市長からコメントをいただきたいと思っています。</p> <p>それでは初めに、「コロナ禍も踏まえて、今後の甲府市の国際交流の形態はどうなるのか」について、参加者Aさんよりお願いします。</p>
参加者A	<p>日本で働く外国籍労働者の有効活用により、国際交流が促進されるのではないかと考えます。学校の休校や仕事のリモートワークで、国際交流や日本の文化に触れることを目的として来日した人々が、思うように動けない現状があるので、有効的に交流を進めていければ良いと思います。</p> <p>山梨県内の外国人ネットワークは繋がりが濃いので、方法によっては有効活用できるのではないかと思います。金銭が発生する際は、就労ビザを考えなければなりません。非営利のコミュニティを創ることは可能ではないかと考えます。</p> <p>また、緊急事態宣言が出たときにも、コミュニティが確立していると情報交換に役立ち、最終的に国際交流にも繋がるのではないかと思います。</p>

<p>人権男女参画 課長 参加者B</p>	<p>続きまして、参加者Bさんお願いします。</p> <p>コロナウイルスが原因で、多くの学生が海外へ留学できず、他国の学生も日本に来ることができない状況です。</p> <p>ほとんどの大学が一年間にオンライン授業になっている中、私の友達が昨年の春休みに帰国し、その後、日本に入国できなくなってしまいました。本国においてもオンライン授業を受け国境を超えて学ぶことができました。</p> <p>将来的には、オンライン授業を通じて、資金困難な学生でも留学できるのではないかと考えています。</p> <p>また、大学では外国語を非常に重視していますが、毎年受け入れる外国人留学生が多くありません。</p> <p>オンラインで他国の学生と連絡を取ることができれば、直接的にその国の大学生とコミュニケーションを取ることができます。学生同士の国際交流が増えることで、他国の学生も甲府市のことをより知ることができ、甲府市がもっと国際的なまちになるのではないかと思います。</p>
<p>人権男女参画 課長 参加者C</p>	<p>続きまして、参加者Cさんお願いします。</p> <p>私たちの大学もコロナ禍の影響により留学生が少なくなっています。</p> <p>オンラインでの授業を大学で行っていますが、場所も問わず他の人と関わりを持つことができます。</p> <p>また、今後は、国内だけではなく海外の授業も受けることができるようになるのではないかと思います。</p> <p>私自身も今学期には米国の大学の授業をオンラインで受講し、日本にいながらも海外の大学や機関と繋がることができ、新しい国際交流に繋がるのではないかと思います。</p> <p>学生の行き来がいつ再開するか分からない状況ですが、姉妹・友好都市の学校とのオンラインの交流を活性化することより新たな国際交流の形を開拓できるのではないかと思います。</p>
<p>人権男女参画 課長 参加者D</p>	<p>続きまして、参加者Dさんお願いします。</p> <p>コロナ禍になり何か新しいことを始めようと思い、インドネシアのバリのオンライン海外インターンシップに参加しました。もし、コロナ禍でなく、オンライン化が身近になっていなければ、バリのオンラインインターンに申し込まなかったと思います。</p> <p>そこでは、インドネシアのごみ問題や水質汚染などの環境問題や、それ</p>

<p>人権男女参画 課長</p>	<p>に対する取り組みを知ることができ、バリと同じく観光客による山梨の富士山へのごみ問題、土壌汚染、水問題などに通じるものを感じました。</p> <p>ありがとうございました。 それでは市長コメントをお願いいたします。</p>
<p>市長</p>	<p>コロナ禍で人の行き来が難しい中、オンラインによりリアルタイムに話をするができるようになったことは、これまでより進んだことの一つではないかと思えます。</p> <p>参加者Aさんのお話にありました、非営利のコミュニティを作るということは非常に良いことだと思います。留学している方々や甲府にお住まいの方、学んでいる方、働いている方など、コミュニティのネットワークがもうすでにあるということであれば、行政がどういう形で参加できるか、これから検討したいと思えます。</p> <p>甲府市では、姉妹都市、友好都市、友情都市である、アメリカ、フランス、中国、韓国と交流を図っておりまして、小中高の学生が、使節団を作ってお邪魔したり、逆に受け入れも行っております。</p> <p>コロナ禍で交流が難しくなっている中ですので、オンラインでの交流の活性化についても考えていきたいと思えます。</p> <p>参加者Dさんのお話ですが、バリ島は国際的な観光地であります。富士山も国際的な観光地ですから、非常に共通した課題も多いと思えます。バリ島は、自然を非常に大切にしているところですから、世界遺産もあるけれども、ほとんど手をつけていないところも多くあります。そういったことを学んだり、あるいは富士山の登山鉄道などの話があったりしますので、リアルタイムの情報交換ができることは、良いことだと思います。</p> <p>いずれにしても、以前のような交流が出来ませんので、様々なやり方で交流を図っていくことが必要であり、皆様のご意見を参考にさせていただきたいと思えます。</p>
<p>人権男女参画 課長</p>	<p>次に「性の多様性、LGBTの人が暮らしやすい甲府市とは」について、参加者Aさんお願いします。</p>
<p>参加者A</p>	<p>私は性の多様性について、もっと深く知りたいと強く思っています。</p> <p>また、多くの人がある事実を理解し”マイノリティ”という意識を無くすことがゴールではないかと思っています。</p> <p>私がそのような考えになったのは、海外経験やSNSを通じ、実際の活動者の行動を目にすることによって考え方が変わりました。私は、「人は考え方を考えることができる」ということを発信していきたいと思っている</p>

	<p>ので、お互いにリスペクトし合える場所や機会を、甲府につくっていきたいと考えています。</p> <p>実際に会話ができるSNS「クラブハウス」での会話で、地方こそLGBTの方が行進する「プライドパレード」をするべきだという話を耳にし、例えば平和通りで行っても面白いのではないかと思いました。</p>
<p>人権男女参画 課長 参加者B</p>	<p>続きまして、参加者Bさんお願いします。</p> <p>私の友人にLGBTの方がいます。 その友人は、そのことを他人に知られることを恐れており、隠して生活しています。私はもっと包容力のある環境を作っていくことが重要であると考えています。</p>
<p>人権男女参画 課長 参加者C</p>	<p>続きまして、参加者Cさんお願いします。</p> <p>落合さんも多様性のあるライフスタイルを受け入れる環境づくりが大切と言っていました。近年、同性パートナーシップや同性婚の法制化を取り入れる自治体が増えています。</p> <p>私は、LGBTであり過去にセクシャリティーが理由で高校を退学した経験から、LGBTの子どもたちが相談できる環境づくりが重要だと思っています。</p> <p>昨年、甲府市でも同性パートナーシップ制度創設の請願を採択いたしました。今後、具体的な政策や活動が必要になると思われませんが、私は学校におけるLGBTの生徒へのサポート体制の整備、教師や市民への研修の実施、市のガイドラインの作成など通じ、すべての人が幸せで安全に暮らせる社会が実現できたらと思っています。</p>
<p>人権男女参画 課長 参加者D</p>	<p>続きまして、参加者Dさんお願いします。</p> <p>私の周りにもLGBTの方がいます。私は今までLGBTについてあまり考えたことがなかったのですが、以前、結婚式場でアルバイトをしていた時に、同性の方同士の結婚式が行われたことがありました。残念ながら参列者は少なく、親族も全員揃っておらず、まだまだ当事者にとっては厳しい状況にあることに気付かされた経験から、推測ではなく事実を理解することが大切だと再認識いたしました。</p>
<p>人権男女参画 課長</p>	<p>ありがとうございました。 それでは市長コメントをお願いします。</p>

市長	<p>日常の中ではLGBTの方が堂々と話せる機会がないので、学校の中も含め、話せる環境を整えていきたいと思いました。</p> <p>また、例えば体格も力も違う男女でスポーツを一緒にするなど、取り組みやすいところなどを提案していただき、実現していくことも重要だと思いました。</p>
参加者A	<p>例えば韓国のプライドパレードなどは、反対派とのいざこざが発生することもあるので、もし地方で行った場合にはリスク面も考えられますが、今まで興味がなかった方々の目に触れることができれば、新しい環境を作っていくきっかけになるとと思いました。</p>
人権男女参画課長	<p>次に「山梨で働く女性を増やすには」について、参加者Aさんお願いします。</p>
参加者A	<p>女性が人生計画を上手にできることと、行政サポートのコンビネーションが大切だと思います。</p> <p>私は、どのタイミングで子どもを作ればいいのか、妊娠できるのか、経済的に大丈夫なのかと多くの悩みを抱えています。</p> <p>労働者が足りない、人口が減っていることを考えると、女性を労働力として使うことも大切だけれど、女性に出産インセンティブを持たせられるような支援も必要であると思います。</p> <p>人口減少や社会活性化を語るうえで女性の合計特殊出生率など話題にあげられ、あたかも”女性が出産をしないことがいけない”という風潮がどうしてもあるように感じます。</p> <p>人々の思考をもっと大きくさせてどんな女性が山梨県にいるのかに目を向けて、ミクロな支援をしてほしいと思います。</p> <p>例えば私のようにキャリア確立を目指しながら将来的に子どもが欲しいと考える人には、産婦人科受診の補助や生理休暇・生理用品支給を積極的にするのもいいと思いますし、子どもを育てている家庭には、教育費に見合った長期的な支援、また産まないと選択した人が”良くない”という人々の思考を取り払うことも大切だと思います。</p>
人権男女参画課長	<p>続きまして、参加者Bさんお願いします。</p>
参加者B	<p>一部の女性は育児のために、会社で決まった時間内に出勤できず、結局バイトやパートになり、正社員になることが出来ません。特にシングルマザーの場合は、良い職場環境や給料などが手に入らないと子どもがきちんとした教育を受けることも出来ません。</p>

<p>人権男女参画 課長 参加者C</p>	<p>コロナの影響で多くの会社がオンラインで仕事を行っていると思います が、オンラインでの仕事を活用し、家で育児をしながら仕事ができるよう になれば、働く女性が増えるのではないかと思います。</p> <p>続きまして、参加者Cさんお願いします。</p> <p>山梨で働く女性を増やすためには、働く女性がキャリアを積んでいくた めの産休育休の整備や、子どもを預けられる場所の確保などが大切であり、 それと同時に、子どもを持つ若い女性への就業支援を行っていくことが重 要であると思います。</p> <p>仕事と子育ての両立の悩みを抱える女性たちには、子育て環境を整えれば 働ける学歴やリソースがあるケースもあると思います。それに対して、若 くして親になったことや家庭の経済状況が理由で、定職に就くための技術 や知識がなかったり、また適切な支援を受けるための情報にアクセス出来 ない女性たちが存在すると思います。</p> <p>そうした女性が貧困に陥ってしまったり、パートナーに経済的に依存し てしまうことがないような女性の就業支援と子育て支援が重要であると思 います。</p>
<p>人権男女参画 課長 参加者D</p>	<p>続きまして、参加者Dさんお願いします。</p> <p>私は理系の女子ですが、理系の学生で山梨に就職する方は少ないのが現 状です。</p> <p>韓国・ベトナム・マレーシアなどでは、理系の人材を増やすため、サイ エンス・テクノロジー・エンジニアリング・マティマティックスの頭文字 を取った「STEM教育」が盛んに行われています。</p> <p>日本に留学して、技術を祖国に持ち帰るということになりますので、山 梨においてももっと理系教育に力を入れ、理系の人材を増やすべきだと思 います。</p>
<p>人権男女参画 課長 市長</p>	<p>ありがとうございました。 それでは市長コメントをお願いします。</p> <p>私は甲府を女性が活躍できるまちにしたいと考えておりますが、学校を 卒業すると就職先の選択肢が多い大都市に出て行ってしまいう人が多いの で、現在、学校を卒業した学生と企業とのマッチング事業に力を入れてお り、甲府にも選択肢があることを紹介しております。</p> <p>例えば、大都市においては希望通りではないポジションで働いている方</p>

	<p>が、山梨では高いポジションでリーダーとして働いていける場合もありますので、そのような方々の生活を紹介し、若い方にも知ってもらうよう情報提供を行っております。</p> <p>また、子どもを産んだ後、仕事に復帰できるチャンスを用意することも重要だと考えておりますので、子どもを産んだ後に仕事に復帰できる人生設計があることをお示ししていきたいとも考えております。</p> <p>今後も、国、県と連携しながら、山梨で働く女性を増やしていきたいと考えております。</p>
<p>人権男女参画 課長</p>	<p>次に「オンラインを使うことによる教育や仕事など、生活面でのメリット・デメリットは」について、参加者Aさんお願いします。</p>
<p>参加者A</p>	<p>現在、インターネット環境があれば、多くの教育コンテンツに接することができるので、小学生が中学生の授業を学ぶことも容易になってきています。</p> <p>しかし、インターネット環境の有無による格差も懸念されるため、インターネット環境を積極的に提供していくことも重要だと思います。</p> <p>また、学校側にとっては、授業の中でどのようにインターネットを使っていくのかを工夫しなければ意味がなく、教育の知識がインターネットに負けてしまうことにもなりかねません。特に語学については、既にAIやインターネットに押されているように感じます。</p> <p>なお、インターネットの世界では、正しい情報、誤っている情報の見極めも大切ですので、インターネットリテラシー教育にも力を入れなければならないと思います。</p> <p>仕事に関しては、リモートワークを充実させれば東京で働いている人が山梨に移住することも可能だと思います。ただリモートワークを可能にするだけではなく、教育機関や住みやすい環境を整えていくことが今後必要であると思います。</p>
<p>人権男女参画 課長</p>	<p>続きまして、参加者Bさんお願いします。</p>
<p>参加者B</p>	<p>約1年間のオンライン授業を受け、メリットとして感じたことは、通学時間がなくなりその分睡眠時間が増え、メイクやおしゃれに気を遣う時間が減りました。</p> <p>デメリットとして感じたことは、他人とコミュニケーションが取りづらいため、授業の雰囲気を感じづらく、また、体を動かすことが少なくなったため運動不足など単調な生活になりやすいと感じました。</p>

<p>人権男女参画 課長 参加者C</p>	<p>続きまして、参加者Cさんお願いします。</p> <p>今回のコロナ禍の中で急速に進んだオンライン化は、今後、教育や仕事など様々な面で活用されていくと考えられます。</p> <p>オンライン授業のメリットは、いつでもどこでも学べることだと思います。</p> <p>また、デメリットとしては、オンラインを行うための環境を整えることが必要であり、サポート体制を充実していくことが重要であると思います。</p> <p>通学や通勤などの時間が減り自由な時間が増えるというメリットもありますが、学校と日常生活の境がつけにくくなり、規則正しい生活の管理が課題であると感じました。</p>
<p>人権男女参画 課長 参加者D</p>	<p>続きまして、参加者Dさんお願いします。</p> <p>オンライン授業のメリットは、男女の人数差による圧迫感の解消や、男女格差がなくなるなど良い点があります。</p> <p>デメリットとしては、研究や実習において現場で行わなければならない作業もあり、リモート環境では学べないことも数多くあります。</p> <p>それぞれの分野の人々への配慮も必要だと感じました。</p>
<p>人権男女参画 課長 市長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは市長コメントをお願いします。</p> <p>コロナ禍を通じオンラインを利用したりリモートでの生活は既に日常となっております。</p> <p>開府500年記念事業においても、みんなで学んで自らの言葉で故郷を語る「ラーニングスピーチ」を行いました。</p> <p>今後、オンラインを利用したりリモート生活でのメリット・デメリットを整理し、新しい生活のスタイル・学びのスタイルを確立していくことが必要であると思います。</p> <p>地方にとっては、オンラインを利用したりリモートでの生活は、プラスの面が大きいので、経済団体や各分野の方にも協力いただきながら、インターネット環境の充実やワーケーションへの対応に力を入れていきたいと思っております。</p> <p>また、学生の方からも、オンラインを利用したりリモート生活での問題点などを、学校に提案していくことが重要だと感じました。</p> <p>今後におきましても、すべての人々を尊重し、共生しながら楽しく暮らしていけるように、色々な方のご意見を聞いていきたいと思っております。</p>

本日は、ありがとうございました。